

Q & A

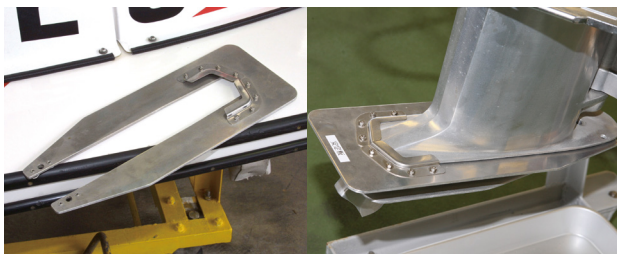
Macour

Q 安定板ってどのくらいの重さなんですか。
またどういった素材でできていますか？

ボッカケ(兵庫県)

A 重さは約500gでアルミA5052Pという素材でできています。安定板の運用はレース場ごとに違います。私が担当する戸田では、以前は安定板装着が決まると選手が好きなのを選ぶ方式だったんですけど、最近運用が変わりました。プロペラ同様、モーター番号に対して指定の安定板を使うようになりました。ただ本当に最近変わったばかりなので、このシステムになってから安定板が使われたことはありません。ちなみに年に数回しか使わないものですし、新しいものに更新される機会は少ないです。戸田ではたまたま運用変更のタイミングで新品に入れ替わったばかりです。

(ボートレース戸田整備士 篠田栞さん)



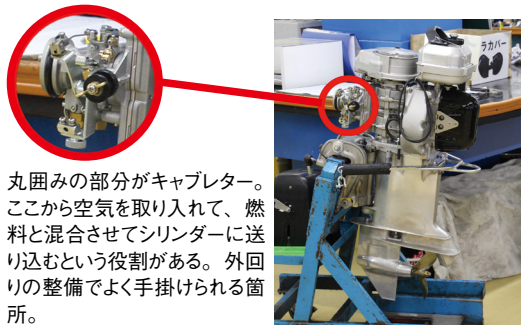
安定板。アルミ製で大きさの割に軽い。キャリアボデーに装着するだけなので、時間はかからない。選手選択制の場では、曲がってないかなど確認して安定板を選ぶ。

Q モーター整備について。選手のコメントを聞いていると「とりあえず外回りの整備から」などと言っています。この「外回り」とは具体的にはどのような整備のことを言うのでしょうか。

上瀧命(愛知県)

A 外回りとは、モーターを分解せずにできる整備のことで、いろいろなものがあります。キャブレターの洗浄やフロートの高さを変えたり、点火時期を変えたりとか。5分くらいでできる簡単なものが多いです。もちろん部品交換などはこれには該当しません。

(ボートレース戸田整備士 篠田栞さん)



丸囲みの部分がキャブレター。ここから空気を取り入れて、燃料と混合させてシリンダーに送り込むという役割がある。外回りの整備でよく手掛けられる箇所。

答えてくれた人

ボートレース戸田整備士 篠田栞さん



モーターボート1級整備士。昨年(23年)、女性初の1級整備士が誕生したと話題になった。元々はレーサー志望で、戸田の艇運でアルバイトをしながら受験を続けた。14年10月号の本誌探偵局で「アマチュアボート」を調査した際にもレーサー志望のひとりとして掲載されたことがある(その場にいた一人が選手になる前の栗城匠)。ダービーでは選手の要望に応えるべく、忙しそうにしていた。

